



若手華道家ユニット、plantica初の大型個展! plantica_Nomadic

introduction

植物から芸術を生み出すために必要な「自由」。

伝統的な華道の流れに「新たなレイヤーを重ねたい」のだと、彼らは言う。有機物である植物を用い、空間を彩る。その方法には、「植物」をテーマにしている以外は、まったく制約がない。あるいは布にプリントされた花でさえ、彼らにとっては華材になってしまう。植物にまつわるあらゆる事象を用いて、生命感に溢れた芸術を生み出していく行為。本来、華道とはそのようなものでなかったか。一見、伝統から離れていくかのように見えるが、彼らが掲げる「自由であること」は、まさしく華道の本懐なのかもしれない。「新たなレイヤー」は、あらゆる方向への模索の中からしか生まれえない。自在な芸術という意味において、空間を支配する生け花はまさしくインスタレーションであり、花を生けるためには小さな決断を積み重ねなければならない。後戻りできない即興性に宿る、伝統と自由の美しきバランス。植物という普遍性に対峙するために、彼らは新たな価値を探し求めている。

概要

タイトル : plantica_Nomadic

会場 : ポーラ ミュージアム アネックス / 東京都中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3F
東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口すぐ

会期 : 2012年12月19日(水) ~ 1月27日(日) * 12/29-1/4は休館

時間 : 11:00 - 20:00 (入場は閉場の30分前まで)

入場料 : 無料

主催 : ポーラ ミュージアム アネックス 企画制作 : PARCO

お問合せ : 03-3563-5501 (ポーラ ミュージアム アネックス)

本件のお問合せ

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室

tel.03-3563-5540 / fax.03-3563-5543

<http://www.pola.co.jp/m-annex>

Profile

plantica（読み：プランティカ）

木村貴史を中心としたユニット。2007年に結成。約600年続く華道の伝統を意識しつつ、「植物という有機物をいかに芸術に昇華するのか」を追い求める彼らは、表現の場をストリートに求めたり、プロダクトを制作するなど、生け花の枠に捕われない自由な活動を行う。09年にユニクロのCMに木村が出演。また、フランス放送局のドキュメンタリー番組「Canal Plus」の取材を受けるなど、国内外のメディアにも取り上げられることもしばしば。空間演出、ビジュアル制作を中心に、独自の世界観の発表を続けている。

近年の代表作に〈NIKE〉「THE SUPER NATURAL RIDE EXHIBITION」のパブリックアイコンやグリーンディレクション、〈CHANDON〉の四季をテーマにしたキービジュアルの制作など。

プレス用宣材（1ページ目の写真も含めて、印刷用の解像度の高いデータなどご用意しております/ユニクロ除く）

